

平成24年度 公益財団法人アジア研究協会 事業計画書

平成24年度においては、財団の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. アジア研究協会奨学生派遣事業

若手研究者育成奨学金の交付

アジア研究協会奨学生派遣事業 (200,000円 × 2名)

— アジア地域研究を専攻する大学院生に対する海外調査研究を行うための奨学金を支給—

(アジア諸国の地域研究事業の一環として、アジア地域研究を専攻する大学院生に海外調査研究を行うための奨学金を助成する。毎年4月にホームページへ事業目的及び募集要項を掲載し、応募期間終了後の8月に選考委員会を開催、書類選考のうち2名を決定して、9月に奨学金を交付する。また、研究終了後には海外調査研究報告書の提出を義務づけている。)

400,000円

2. 国際研究集会補助

国際研究集会に対する助成金の支出 (300,000円 × 2件)

(アジアの学者等との交流をはかり、研究発表や情報交換を行う国際研究集会に対し、開催経費の一部を助成する。毎年4月にホームページへ事業目的及び募集要項を掲載し、応募期間終了後の8月に選考委員会を開催、書類選考のうち2件を決定して9月に助成金を交付する。また、会議終了後には会議成果内容書と、実績報告書の提出を義務づけている。)

600,000円

3. 学術図書刊行助成事業

「東南アジア研究」第50巻1号及び2号 各100部の印刷代及び版権料の助成 (版権料7,000円、印刷費73,000円)

(京都大学東南アジア研究所において、東南アジア諸国に対する最新の研究業績を掲載している「東南アジア研究」の出版経費の一部を助成している。平成24年度は、第50巻1号を7月に、50巻2号を平成25年1月に刊行予定である。)

80,000円

4. 交 流 事 業

平成24年度 API(Asian Public Intellectuals)フェローシップ事業の支援

(アジア地域の政治、経済、社会、文化の共通課題を解決するため、アジアの知的指導者(パブリック・インテレクチャル)に、東南アジア近隣における研究・交流の機会を与えることを目的に設立された「日本財団アジア・フェローシップ(APIフェローシップ)事業」の日本における事業を支援している。

APIフェローシップ事業としてホームページに掲載のうえフェローを公募し、国内選考委員会の書面審査の後、面接審査で候補者を決定のうえ、他国の候補者も含めた国際選考委員会でフェローを選出する。平成24年度は、第12期フェローをインドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナムの各国より計9名を受け入れ予定。また、第13期フェローの募集を行い、平成24年10月には国内選考委員会を東京にて開催予定。平成25年3月には京都大学東南アジア研究所にてオリエンテーション及び国内ワークショップを開催予定。また、助成期間終了後に速やかにファイナルレポートを提出させ、後日報告会を開催のうえ成果をまとめ、報告書を作成している。)

計 19,208,000円

合 計 20,288,000円